

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2008

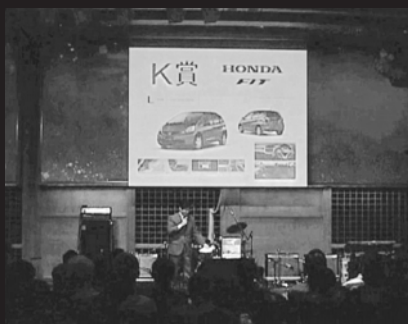


•vol. 28

第5回

志木会大会開催!

—— いま若き血も、
いまだに若き血も、
ヒートアップ ——



慶應志木会の皆様へ

慶應義塾志木高等学校長 下村 裕
慶應志木会名誉会長



慶應志木会報第28号のご刊行、誠にありがとうございます。

早いもので、私が慶應義塾志木高等学校長を拝命してほぼ1年半が過ぎましたが、まだまだ自分の未熟さを痛感する日々が続いております。それでも、本校を卒業し学窓を巣立っていった生徒が、大学のキャンパス等で声をかけてくれる度に、教育に携わる喜びを感じる現在です。

さて昨年は、志木会が創立20周年を迎えられ、その記念の第5回志木会大会を盛大にご開催されたこと、心よりお喜びいたします。その折も御挨拶させていただきましたが、本校と本校生徒に対する志木会の皆様からのためまないお力添えに対し、重ねて御礼を申し上げます。特に、私の着任直後にご設立いただき本年3月に2回目の授与を賜りました「慶應志木会賞」、そして慶應志木会創立20周年を機としてご創設いただきました「慶應志木会奨学基金」は、先輩諸氏のありがたいご厚意であり、鹿野会長を初めとする皆様のご尽力に深く感謝しております。

また私事になりますが、志木会の方々に拙著「ケンブリッジの卵一回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか」（慶應義塾大学出版、2007）をお買い上げいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。昨年夏に出版いたしました一般読者向けの研究物語ですが、私の人生観や教育理念等についても記述しておりますので、より多くの皆様のご高覧に供すれば幸甚です。

ご存じのように慶應義塾は、本年いよいよ創立150年を迎え、「独立」と「協生」をコンセプトとして2005年秋よりさまざまな創立150年記念事業が展開されております。そして、そのクライマックスである記念式典が11月8日に日吉キャンパスで挙行されます。その他にも様々な記念事業が予定されておりまして、本年度は忙しい一年となりそうですが、志木高も農業高等学校から数えますと創立60周年を迎えます。10周年ごとに記念行事が執り行われて参りましたので、創立60周年にあたる本年も何らかの形で本校の還暦を祝いたいと存じます。これまでの志木高を振り返るとともに、未来の発展に向けた契機となるような機会を検討しております。現時点で具体的な内容はまだ決まっておりませんが、志木会の皆様には何らかの形でご協力をお願いさせていただくことと存じますので、その節はどうぞよろしくお願いいたします。

最後にあらためまして、志木会の皆様のお力添えに深謝し、志木会の更なるご発展を心より祈念申し上げます。

ご 挨拶

会 長 鹿野 元章 (16期)



会員の皆様にはご健勝にてお越しのこととお慶び申し上げます。平素より志木会へのご協力の程厚く御礼申し上げます。

昨年の志木会大会におきましては野溝実行委員長を中心に役員、幹事の皆様のお力により多くの来賓、会員の皆様にご出席頂き誠に有難うございました。御蔭さまで広い会場にもかかわらず厳粛な開会の雰囲気が保たれ、一転して楽しいアトラクション、くじ引き大会などの企画に変わる趣向でおおむねご好評をいただきました。とはいえ行き届かぬ点も有ったかと存じ、次回大会の参考資料としてご感想、ご意見をお寄せ下されば幸いです。

ご高承の通り本年は慶應義塾150年の記念すべき年にあたり、様々な行事が予定されております。母校志木高も前身の農業高校以来60周年を迎え、教職員、在校生の皆様のご努力により年々声価を高めておられますことご同慶の至りと存じます。

御蔭さまで昨年は大会が開かれたにもかかわらず、志木会会計はほぼ予算内で締めることが出来、先日の幹事会で会計報告ならびに今年度事業計画と予算をご承認頂いた次第です。本年も志木会賞二件を去る3月22日の卒業式において授与させていただきました。創立150年募金には志木会としても応分の寄付等を通じてすこしでも貢献することが出来れば幸いに存じます。

本年はすでに5月29日(木)に五高合同懇親会が開かれました。7月5日(土)にはゴルフ大会である第5回JKカップが、11月8日(土)、9日(日)には連合三田会に併せて150年記念式典も予定されております。

11月23日には昨年来御願ひしております志木会奨学基金の募集締め切りを迎え、いよいよ来年からは支給計画を開始いたしたく存じております。

志木会報平成20年版に際し、例年にも増してご協力賜りますよう御願ひ申し上げます。

第5回志木会大会ご報告



実行委員長
野溝 孝信 (16期)

穏やかな好天に恵まれた2007年11月24日のホテルオークラ「平安の間」。受付開始の午後2時前、ぞくぞくと各期毎の受付テーブルに並ぶ参加者を目の前にして、不安と緊張に強張っていた体からフーッと力が抜けて行くのが判りました。

当日は朝8:00から第1陣の音響・映像等のシステム搬入と設営が始まり、10:00からは第2陣の受付・物販・抽選賞品展示・その他会場レイアウトと、実行委員の皆さんを中心に忙しくも手際よく準備が進められました。そして最後に12:00にお集まり頂いた各期幹事の皆さんと、受付・来賓・会計等の各担当毎の最終ミーティングを済ませ、後は「まな板の上の鯉」の心境でありました。前日までの事前振込み719名、1000名目標には及びませんでした、最終的にはご来賓を含めて900名弱のご参加を得、幹事一同取り敢えず胸を撫で下ろした次第です。

テレビ東京植草朋樹(34期)アナの司会進行により、塾歌斉唱・鹿野元章会長・下村裕校長・安西祐一郎塾長のご挨拶そして服部禮次郎連合三田会会長の乾杯で始まった大会は、和やかな歓談の中「ザ・ランチャーズ70'S」の演奏、豪華福引抽選会と大いに盛り上がりしました。中締めのご挨拶では、この日まで経験豊かな幹事役員の皆様に支えられ、何も判らず迷惑ばかりお掛けしてきた私が、満場の皆様からの拍手を頂くのは何とも面映い心地でありました。この場をお借りして再度幹事役員の方々に感謝申し上げます。最後は恒例の「若き血」を慶應義塾大学應援指導部リーダーと、華やかなチアのリードにより全員肩を組んでの大合唱でお開きとなり、その後二次会へと繰り出す方々も多数いらっしゃいました。尚、今回の日程が三田祭と重なりリーダー・チアのご出演が危ぶまれましたが、志木高應援指導部OB会「應志会」の皆様のご尽力により実現出来た事をご報告申し上げます。

最後に今大会の総括としてまず参加者の年代別で見ますと、30歳代24名(出席者の2.88%)と前回に比べ半減した事が危惧されます。不況の影響による過酷な労働条件のしわ寄せなのかもしれません。それに引き換え学生・20歳代は96名(出席者の11.51%)と前回の3倍となりました。これは今回初の試みである年代別会費の賜物と思います。幹事会でも議論百出した年代別会費でしたが、収入額の面では兎も角、若い年代に志木会を知ってもらったことは大いに意義のある企画だったと思います。卒業40年期の卒業式招待、一昨年から企画した卒業25年期の収穫祭でのホームカミングデー企画は着



実に成果を上げていると思います。若い世代への企画へも皆様のお知恵をお借りしたいと思います。今後も大会時だけに限らず、平素から各期横の連絡を密にして志木会と志木高の発展をサポート願えればと思います。その為にもどうか学年幹事或いは役員に任せ切りと言うのではなく、全部を背負わなくても良いですから一人一人が出来ることを協力して頂ければ幸いです。



11月
22日
(土)

母校にて テニス大会 家族で汗を流し バーベキュー を楽しんでください！

特に適齢期の御子息がいる会員は是非学校見学だけでも来て下さい。
価値がありますヨ！

- 開 始 …………… 12 : 00
- 終 了 …………… 17 : 00
- バーベキュー … 16 : 00～
- 志木会会費納入済の会員は家族を含み参加費無料！
- 会費未納の会員は家族を含み ￥500／1人
- 飲み物は有料です

● 2007年「志木会大会」記念グッズ&写真集CD ●

第5回志木会大会用に作成しました記念グッズを販売いたします。購入希望の方は、品名、数量、氏名、住所、電話番号を志木会事務局まで連絡ください。代金の振込先と金額を連絡いたします。入金を確認できましたら品物をお送りします。なお、数量に限りがありますので売り切れの際はご容赦ください。メールブロック・キーリングを単体での購入の際は送料は100円です。他の品物は送料を志木会で負担します。また複数の品物をご希望の場合には割引価格を適用させていただきます。

1. 慶應志木会オリジナルネクタイ



新しくデザインされたユニコーンとペンマークのオリジナルエンブレムには1948の文字が隠れています。赤と青、赤と白、赤と黄の3種の色違いストライプとエンブレムの組み合わせです。

各色 1本 5,000円

2. オリジナルネックストラップつき USBメモリー



オリジナルマーク入りUSBメモリー。容量 1GB。
1個 5,000円

3. クリスタル製ペンスタンド



オリジナルマークがレーザー加工により刻印されています。ペンは付いておりません。ペーパーウェイトにもなります。
1個 9,000円

4. クリスタルトンブラー



ガラスの底にオリジナルマークがレーザー加工により刻印されています。
1個 9,000円

5. 本皮製トリノパワー健康ベルト



黒色・フリーサイズ。
バックル部分にペンのマークとKEIO SHIKIの刻印が入ってます。
1本 9,000円

6. メールブロック



携帯電話画面の覗き見防止シール。斜め方向からは画面が見えなくなります。オリジナルマーク入。
1枚 500円

7. キーリング



赤・青 2個セット。
ペンマークとKEIO SHIKIの刻印入りオリジナルマーク付き箱入り。
1組 500円

8. 写真集CD



大会当日にスクリーンに投影しておりました志木高の懐かしい写真をCDに収めたものを1枚2,000円で販売します。志木高に未整理で保存されていた、創立から約50年間の写真の中から無作為に約250枚を抜き出し大会用に作成したもので、撮影時期等が不明なため順不同ですが、懐かしい写真が収められています。Windowsのパソコン用です。

3. 4. 5. は少数製作のため単価が高くなってしまいましたが他には無い貴重品です。
皆様のお申し込みを待ちしております。

申し込み先 志木会事務局

メール: info@keio-shikikai.jp

TEL: 048-471-1959 FAX: 048-471-1974

慶應志木会賞

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。受賞者は体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに、校長、主事、事務長、志木会役員で構成される選考委員会で決定します。

第一回はバスケットボール部、図書館探求グループ、収穫祭実行委員会が表彰されました。

本年度は、埼玉県大会、関東大会で活躍した軟式野球部3年生10名と全日本カート選手権で総合優勝した1年生 佐々木大樹君が3月22日の卒業式に表彰されました。

1. 軟式野球部

戦績 平成19年度埼玉県高等学校軟式野球春季大会 優勝
第55回春季関東高等学校軟式野球大会 ベスト8
第52回全国高等学校軟式野球選手権埼玉大会 Aブロック優勝
第52回全国高等学校軟式野球選手権南関東大会 出場

軟式野球部史上最高の成績を収めた。

2. 佐々木大樹君（1年生）

戦績 全日本カート選手権FAクラス
第1戦 2位、第2戦 リタイア、第3戦 1位、
第4戦 1位、第5戦 1位、最終戦 1位
2007年全日本カート選手権FAクラス 総合優勝

家族との協力で全日本チャンピオンとなり、チャンピオンとしてカー雑誌の表紙を飾り、特集記事にも取り上げられている。学業においても抜群の成績を収めており、文武両道を実践している。来年度からは日産のチームに所属し、さらに上のクラスを目指すことが決まっている。

體育部會NOW | 第8回

剣道部 福本 裕 部長

剣道部は、平成17年に創部40周年記念パーティーを渋谷にて行いました。

初代剣道部部長の高山弘先生、元師範の福本修二先生をはじめ多くの先輩方が集まり、楽しい一時を過ごしました。今年で創部43年を迎える事になります。

現在の活動状況は、新入生が5名、2年生が7名、3年生が7名の合計19名で週5日間活動しています。

OB会長の中村福義先輩、吉田正彦監督の熱心な指導を頂き、部員達は一生懸命に汗を流し活動しています。春休みには2回の合宿、他校と20試合以上の実戦練習を行うなど日々精進しております。

昨年度は地区大会ベスト8(春季)、五大学付属大会3位(優秀選手賞、葛西君)、県私学大会ベスト8が最高の成績でした。

今年はさらにその上の成績を目標に、部員一丸となって努力しています。

今後とも宜しくお願いいたします。

文化部会NOW | 第8回

器楽部 小池 陽 部長

器楽部は吹奏楽のクラブです。決して規模の大きくない男子校である本校では、他校のような大編成の吹奏楽団を組むことは望みようのない話ですが、部員達は自分達の出来る最上の演奏を目指して日々練習に励んでいます。

部員のほとんどが本校入学から楽器を始める初心者ばかりでありますので、日ごろの練習も模索しながら行っているような状況ですが、昨年度は「吹奏楽コンクール高等学校Bの部(編成35人以下)」に挑戦し、地区大会金賞、県大会では銀賞を受賞致しました。また年度末の3月には、県立朝霞西高等学校吹奏楽部との共演や地域の方々のご協力により「第9回定期演奏会」を開催し、およそ400名のお客様にご来場いただくことが出来ました。

実は埼玉県は全国でも名だたる吹奏楽王国でありまして、例えば埼玉栄高等学校や県立伊奈学園総合高等学校など全国的に有名な学校がたくさんあります。それらの学校の演奏や活動に部員達は強い刺激を受け、また私自身も指導方法や年間活動計画作成に当たり多くの方々のご助言をいただいております。今夏の吹奏楽コンクールでは、昨年果たせなかった西関東大会出場を目標に、部員一同全力を挙げて頑張っていく所存であります。

器楽部へのご声援、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

——「慶應志木会奨学基金」ご協力のお願い——

平素より慶應志木会への長年のご理解とご協力に感謝申し上げます。

私たち慶應志木会は、昨年11月に創立20周年を迎えました。母校志木高等学校が多くの「優秀な後輩の育成」という成果を上げておられることに同慶に堪えません

しかるに近年、残念ながら家計支持者の病気や死亡、失職等により家庭状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になる生徒が毎年居るとのことです。

私たち慶應志木会は20周年を期して、経済援助を通じて有為な人材の育成ならびに教育の機会均等を図るため、長年の懸案であります「慶應志木会奨学基金」の設立を19年度幹事総会でご了承をいただいた次第です。

つきましては、一人でも多くの後輩が有意義な志木高生活を送れるよう、志木会が結束して応援いたしたく下記のとおり募金を開始することに致しました。

当募金の趣旨にご賛同をいただき、是非ともご協力を賜われますよう、心からお願い申し上げます。

慶應志木会 会長 鹿野元章

慶應志木会奨学基金設立

募金責任者 山崎嘉正 会計責任者 金森 悟

【募金要項】

1. 募 金 期 間 平成19年11月24日～平成20年11月23日
2. 募金目標額 3000万円
平成21年学校年度より奨学金が支給できますよう皆様のご協力をお願い致します。
3. 募 金 単 位 個人名義 1口1万円 “2口以上大歓迎”
時節柄恐縮ですが、1口以上ご協力賜わりたくお願い申し上げます。
法人名義 1口1万円 出来ましたら5口以上のご協力を望みます。
4. 払 込 方 法 下記銀行および郵便局にて志木会会員番号を、お名前の前に記入してお振込み下さい。
法人名義の場合も個人の志木会会員番号を記入してお振込み下さい。
口座名義「慶應志木会奨学基金 鹿野元章」(ケイオウシキカイショウガクキキン シカノモトアキ)
振込口座一覧 三井住友銀行 新座志木支店(普通) 6891296
三菱東京UFJ銀行 新座志木支店(普通) 1983046
埼玉りそな銀行 志木支店 (普通) 4145297
郵便貯金 10340-38162591
5. 領収書及び個人寄付に対する減免措置について
払い込み票が領収書控えとなりますので大切に保管してください。
また、募金期間平成20年11月23日までの入金に対しては、平成20年分として平成21年2月上旬に慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。
6. 振込手数料 まことに恐縮ですが、お振込み手数料は各自ご負担下さい。
7. 収 支 報 告 記念事業終了後、報告させていただきます。
8. 問い合わせ先 慶應志木会事務局 竹内(学校内)
Tel 048-471-1959
E-mail info@keio-shikikai.jp
奨学金担当 山崎嘉正(志木会事務局長26期)
E-mail kametono@pop.kcv-net.ne.jp
ウェブサイトでも情報を提供しております。
<http://www.keio-shikikai.jp/>

すでにご寄付いただきました方々には、ご理解とご協力に対して、心より御礼申し上げます。

募金期間終了後、三田評論の寄付金申込者芳名覧に記載させていただきますが、匿名をご希望の方は事務局までご一報ください。

なお、記載方法はお名前のみとさせていただきます。

生徒会収穫祭実行委員会からのお知らせ

皆さんこんにちは。平成20年度収穫祭実行委員会です。今年僕達が掲げるテーマは、「STEREOTYPE?」に決定しました。

STEREOTYPEには、「固定観念、型にはまった」、などの意味があります。今までのありきたりで、いまいちヒネリがなかった慶應志木の収穫祭のイメージを一新し、全くもって新しい革新的な収穫祭にしようという気持ちを込めてこのテーマを決めました。

すでに広報パートでは校内収穫祭新聞を発行するなど、新しい試みを行っております。中夜祭、後夜祭パートも今までにない楽しさ、お客様の満足感を考え、日々会議を重ね奮闘しており、門パート、パンフパート、装飾パートは昨年まではなかった“デザインパート”なるものと協力し、皆さんを目でも楽しめるデザインを追求しています。

僕達の代が、新たな歴史の一ページを開ければと思っています。

皆様ぜひ楽しみにしていて下さい。そして当日ぜひご来場下さり、感動して戴ければ幸いです。当日に向け、これからさらに努力していきますので、どうぞよろしく御願い致します。 実行委員長 内藤志乙良



ホームカミングデー



本年度収穫祭に於いて、毎年恒例の志木高卒業25周年ホームカミングパーティが開催されます。此は卒業25年の会員の方々（今年は33期）を中心に、懇談会を行うものです。

尚、参加に際し特に申込み等は必要ございませんので皆様奮ってご参加下さい。

場 所：10月25日（土） 11：00～14：00 於 志木高会議室（3階）

対 象：卒業25年（33期）の方々を中心に志木会全会員の皆様



野球大会

覚えている方も多いと思いますが、今から8年前の2000年8月27日に母校野球部の全面協力の元、東京ドームを借り切って野球大会をしました。観客席からでは想像できない、バッターボックスに立ったことのある人間にしか解らない興奮をもう一度味わいたいと思いませんか？ 可能であれば来年そのドーム野球の企画を実現したいと思っています。関係各方面の方々にはご協力をお願いすることになるとと思いますが、志木会活性化のため是非ともご協力のほどお願い致します。 企画担当 記

歩こう会



人気のあった「歩こう会」を再開してみたいと思います。企画担当は23期：中村弘司・35期：大澤宏樹・48期：岩崎弾の3人です。こんな所に行ってみたい！ こんな所なら案内できる！ こんな所に志木会会員の店がある！ 等企画担当に入れ知恵をお願いします。

皆様の情報をお待ちしています。

企画担当 記

質問等は志木会事務局へどうぞ。

E-Mail : info@keio-shikikai.jp

TEL : 048-471-1959(直) / FAX : 048-471-1974



校内自然観察会を振り返って



宮橋 裕司 教諭（理科）

2007年5月12日、7月28日ならびに9月22日の各土曜日に、本校で初の試みとして志木高周辺在住の方を対象とした自然観察会を行ないました。3日間でのべ110名の参加があり、周辺に住む方々の本校への関心の高さを改めて伺い知ることができた貴重な機会でした。

5月は、春に開花する植物の解説を中心に、構内施設や野火止用水の現状の話などをしましたが、この時は「メディアッティ東上」が同行取材を行ない、地域のケーブルテレビで放映されました。7月には夏に開花する植物の話、9月にはドングリを中心とした解説と校舎内で未知の植物の調べ方についての講義を行ないました。これらの会では、野外散策中に志木会の方がサポートしてくださると同時に、冷茶のサービスなどをしてくださるようになり、参加者の方々からは多くの感謝の声を聞くことができました。OBの方々が「自分が高校生頃はこんな感じでした」と地域の方に語ってくださるだけで参加者の反応は全然違ってみえました。

2008年度は、5月10日と9月20日を予定しております。本校のホームページにも実施要領を掲載してございますので、ご記憶頂ければ幸いです。



南三陸での研修旅行



井澤 智浩 教諭（理科）

2年生は、毎年10月に宮城県南三陸町～気仙沼市において、理科を主とする研修旅行を行っています。南三陸には、首都圏では失われつつある自然と昭和以前の風景、またそれを上手に利用した林業、農業、水産業など第一次産業の全てが存在しています。また、リアスの典型であるおとり山が海岸に迫っており、この山に降った雨はすぐに海へ注ぐことから、山がダメになると海がダメになるということで、漁師が山に植樹をしたりと、林業、農業、水産業の連携の試みなどが見られ、自然科学の原点を学び、またその応用として、環境問題解決の糸口である人と自然の共生を考えさせる生きた教材として格好の場所です。ちなみに南三陸町には義塾の山林もあります。

研修は大きく分け2行程から出来ています。1つは志津川湾において、海の生態系を学ぶコースです。海藻を使って、色素分析と光合成の生産力を測定する実験を行い、生態系のしくみを学びます。そして応用として、海の実産力に支えられて我々人間も食料を得ることができるということ、つまり水産業を学ぶためにカキやホヤなどの養殖場見学や魚市場見学をします。もう1つのコースは、ここ南三陸は有名なウダツギョリュウをはじめ化石のメッカであることから、古生代～中生代にかけての露頭をめぐり、地質学を学びます。魚竜化石を見学したり実際に自分たちで化石を探しながら、南三陸の古環境を探ります。

こうした研修旅行は、地元の協力なくしては成り立ちません。地元教育委員会ははじめ、実験は南三陸町環境活用センターに、水産見学は志津川漁協に漁船をだしていただき、気仙沼魚市場ではボランティアガイドに案内していただき、そうした地元の人達と教員はじめ生徒たちとの触れ合いがまた1つの勉強であると感じています。漁師さん達には、見学だけでなく、取れたてのカキやホタテを食わせてもらい、まさしく五感すべてを使う生きた研修となっています。松島や中尊寺、登米の明治村などの見学も含め、3泊4日の研修旅行は、普段学校では出来ない内容を学ぶ貴重な行事となっています。

この研修旅行で水産業を、三重の志木の森で林業を、校内の実習農園で農業を学べるので、第一次産業を一通り学べるプログラムになっていることも志木高ならではのと言えるでしょう。



志木高・志木会行事日程



	志木会		志木高等学校	
	平成19年度	平成20年度	平成20年度	
4月			4/7	入学式
			4/17	定期健康診断
5月	5/12 枇杷の会 横浜山手 5/12 志木高自然観察会 ※ 5/22 幹事総会 港区立商工会館	5/10 志木高自然観察会 ※ 5/24 枇杷の会 旧古河庭園 5/29 5 高合同懇親会	5/1・5/2	クラスマッチ
			5/19～5/21	1 年総合学習研修旅行（箱根）
6月	会報発行 6/9 ゴルフコンペ 若洲ゴルフリンクス	会報発行 6/4 ゴルフコンペ 若洲ゴルフリンクス	6/23～6/27	第 1 回定期試験
7月	7/28 志木高自然観察会 ※	7/5 JKカップ	7/18	第104回 志木演説会
			7/22～	夏期休業
8月	8/25 枇杷の会 九品仏・等々力			
9月	歩こう会 9/22 志木高自然観察会 ※	9/20 志木高自然観察会 ※ 9/27 枇杷の会 柴又界限	～9/7	夏期休業
10月	10/27・28 収穫祭 10/27 ホームカミングデー (32期)	10/25・26 収穫祭 10/25 ホームカミングデー (33期)	10/7～10/10	2 年研修旅行（南三陸）
			10/6～10/10	3 年見学旅行（北海道）
			10/25・10/26	収穫祭
11月	11/8 ゴルフコンペ 若洲ゴルフリンクス 11/24(土) 志木会大会 (ホテルオークラ)		11/1	学校説明会
			11/17～11/21	第 2 回定期試験
12月	12/8 枇杷の会 武蔵野平林寺	枇杷の会	12/4	マラソン大会
			12/18	第105回 志木演説会
			12/22～	冬期休業
1月			～1/8	冬期休業
				自己推薦入試
			1/13～1/16	第 3 回定期試験（3 年）
2月	幹事新年会 2/22 枇杷の会 2/23 (向島百花園)	幹事新年会 枇杷の会		一般・帰国入試
				第 3 回定期試験（1・2 年）
3月	3/22(土) 卒業式 卒業40周年（18期生）	3/24(火) 卒業式 卒業40周年（19期生）	3/24	卒業式（14：00～）

※志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に近隣者を対象に開催されます。
(卒業生10名様受付)

メールマガジン・ウェブサイトのご案内

慶應志木会では、電子メールアドレスを登録されている会員の皆様へ、月 1 回メールマガジンをお届けしています。発行は毎月第三金曜日です。イベント情報や慶應志木会からのお知らせが主な内容ですが、会員の皆様からの投稿も受け付けています。

また、ウェブサイト：<http://www.keio-shikikai.jp/>では、イベントの詳細な情報・報告の他、訃報などの緊急のお知らせも掲載しております。

同窓会、クラブOB会etc.、タイムリーな情報発信源として、メールマガジンとウェブサイトをどうぞ活用ください！。ウェブサイトへの掲載希望は、ウェブサイトより連絡を御願いたします。メールマガジンが届いていないという方も同ウェブサイトから電子メールアドレスを登録できます。

皆様のご登録をお待ち申し上げます。

●●● クラブ成績 ●●●

クラブ	成績
★体育部会	
硬式野球部	07夏 選手権大会 3 回戦 秋 地区予選 代表決定戦 08春 地区予選 代表決定戦
競走部	58回 全国高校駅伝競走大会埼玉県大会 2 時間22分27秒 19位 75回 埼玉県駅伝競走大会 2 時間16分14秒 13位
卓球部	関東大会兼インターハイ予選会 男子団体（安田・沢田・山崎・笹井・岩木川）西部地区ベスト12 県大会出場
蹴球部	07新人戦 県大会 5 位 関東大会予選 県大会 5 位 国体予選 県大会 5 位 全国大会予選 ベスト 8
庭球部	西部地区大会 ベスト 33以上 高岡 7 位 橋岡 20位 澤木 24位 篠 31位 浜野 33位 以上の選手は県大会へ ダブルス ベスト17以上 高岡・橋岡 5 位 浜野・林 13位 小澤・田中 17位 以上の選手は県大会へ
端艇部	県大会新人戦 舵手付きクォドルプル（松浦・高橋・永田・堀越・森田） 2 位 関東選抜ボート大会 舵手付きクォドルプル 5 位 77回 早慶レガッタ 高校Aレース優勝（江川・高橋・永田・堀越・森田）
柔道部	H20 春季西部地区大会 個人・団体戦出場 高校柔道関東予選会出場
バレーボール部	春季大会 対川越西 2－0
サッカー部	新人戦 西部地区 ベスト32
バスケットボール部	県大会出場
弓術部	西部地区高等学校弓道夏季大会 西部地区個人 1 位 堀越 弘昭
ゴルフ部	H19 関東高等学校ゴルフ選手権大会（団体・個人） 埼玉県大会 H19埼玉県高等学校ゴルフ選手権秋季大会 関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会・全国大会予選 関東ジュニア選手権大会 研修競技会 出場 五大学付属高等学校 剣道大会 第 3 位
剣道部	優秀選手賞 葛西 英知
スキー部	インターハイ県予選 亀屋 誉瑛 GS9 位 金 東周 SL15位 関東スキー選手権大会 亀屋 誉瑛 GS95位 SL71位
ソフトテニス部	六大学附属ソフトテニス大会 個人ベスト16 新人戦 県大会出場
水泳部	関東大会 400m個人メドレー 出場 西垣 学校総合体育大会 400m個人メドレー 6 位入賞 西垣 200m平泳ぎ 11位 西垣 団体予選 400m個人メドレー 9 位 西垣 400mメドレーリレー 11位 小林・西垣・濱田・遠藤 新人大会 200m個人メドレー 8 位入賞 西垣 12位 遠藤 400m個人メドレー 6 位入賞 西垣 11位 遠藤 400m自由形 12位 小林 200mリレー 13位 山口・小林・西垣・遠藤 400mリレー 13位 西垣・小林・山口・遠藤 400mメドレーリレー 13位 小林・西垣・遠藤・山口
軟式野球部	H19埼玉県高等学校軟式野球春季大会 優勝 55回春季関東高等学校軟式野球大会 ベスト 8 52回全国高等学校軟式野球選手権埼玉大会 Aブロック 優勝 52回全国高等学校軟式野球選手権南関東大会 出場 H19 20回県民総体高校野球軟式の部（兼秋季県大会） ベスト 4
★文化部会	
囲碁将棋部	個人戦（佐藤 航）埼玉県高校将棋竜王戦 ベスト32 王位戦 7 位 王将戦 5 位 団体戦 関東高校将棋リーグ戦（夏）C級 2 位（冬）C級 4 位

端艇部だより

4 月27日に伝統の第77回早慶レガッタが隅田川にて開催され、本塾志木高校端艇部は見事早稲田高等学院に 3 艇身以上の差を付け優勝した。早慶レガッタ出漕に当たっては前週行われたお花見レガッタ（戸田コース・埼玉）で志木クルーが日吉をタイムで上回り、レガッタ当日はAクルーして早稲田高等学院と 対戦することになった。高等学院には同お花見レガッタで直接対決をしており、結果は早稲田の後座を拝することとなり、レース前は早稲田有利の下馬評であった。

しかし 試合当日は風が強くなり、隅田川の水面も波立つラフ・コンディションとなった。早稲田はスタート直後に波にオールを取られるアクシデントがあったが、志木クルーは落ち着いたローイングに終始し、徐々にその艇差を広げ、桜橋を過ぎたゴール地点では 3 艇身以上の大差を付ける大勝となった。今年はインターハイが地元埼玉県で開催されることもあり、これからの端艇部の活躍を大いに期待したい。志木高校端艇部のOB会組織である志水会は本年 4 月より執行部を一新し、佐藤会長・細谷副会長（共に昭和36年卒）以下新理事 9 名で活動を開始した。同端艇部は昭和34年に創部され、来平成21年には創部50周年を迎える。

この記念すべき年に向かって現在周年記念事業の企画と会員名簿の整備の作業が進められており、会員諸兄に於いては種々イベントへ積極的ご参加頂くと共に、是非連絡先メールアドレスを下記アドレスまでご連絡下さい。 info@keio-shikikai.jp

★ 志木高教職員の動向

退職…	・ 沢田 洋君（数学科専任）	・ 武藤 正弘君（国語科専任）
	・ 杉山 貞夫君（用務員室）他 3 名	・ 阪口マーク君（外国語科講師）他 3 名
新任…	・ 稲石 陽平君（48期 国語科講師）他 9 名	・ 矢澤 光泰君（用務員室）他 3 名
計報…	・ 野口 福次君（元英語科教諭）2008年 1 月22日 ご逝去	・ 建部勇之助君（元理科教諭）2008年 4 月 6 日 ご逝去

同期会 & OB会だより

4期

4期の我々10数名は大学の入学式に出席しました。4月3日、日吉駅から銀杏並木を埋め尽くした新入学生6000人余とその父兄。

それから、昭和29年大学入学の我等、第99回の卒業生約1000人、感激を新たにしました。引き続いて開かれた、塾主催のパーティーでは、久々に会う地方在住の、旧友とも会うことが出来、他校に例を見ない慶應義塾の「社中一同」であることを実感した、有意義な一日でした。

伊藤金次郎 記

5期

有志会「100クラブ」

卒業して50年以上経つ5期の仲間で「100クラブ」と言う有志の会を楽しんでいる。会員は現在30名ほどで（会長 森田忠次郎君）、毎年少しずつ減少しているのがチョット寂しい。昨年も林成郎、渡辺剛志の両君が鬼籍に入ってしまった。現メンバーは、早逝した仲間の分まで元気にクラブライフを楽しんでいる。

年4回のゴルフとタウンミーティングと称する飲み会を2回程行っている。この春も、例年春のゴルフ会には多忙なホテル経営の時間を割いて参加するロスアンゼルス在住の多木温久君を交えて、賑やかな一日を過ごした。

ゴルフ会の第1回は、伊藤憲之介君の発案で1975年11月17日に東京ゴルフ倶楽部で行った。今年の4月1日の相模カンツリー倶楽部で128回を数える。

100クラブの会名は、自然との闘いの中で、知恵と根気で「収穫」を得る「百姓」の100に由来する。加えて、研鑽と努力で「全員100を切ろうね」やるからには「100回は続けようね」という「志の高さ」から来ている。

タウンミーティングは、都心で、料理の「美味

しさ」と「価格」のバランスのとれた店で、談論風発、遠慮のないザックバランな会だ。前回は、11期の馬淵祥宏さん経営の日本料理の名店、汐留シティーセンターの「えど」で楽しいひと時を過ごした。

6回目の年男も過ぎ、ゴルフのスコアも酒の量も落ちたが、お互いの健康を守り、先に逝った友の分まで元気で頑張ろうと誓い合う昨今である。

宮田 勝 記

13期

志木会大会後の二次会

昨年の志木会大会には35名が参加、13期の二次会——四木会（六本木・貴奈）には40名強が参加して盛会でした。今年は節目の45年、卒業40周年で学校に60数名が集合した再現を目指したいと思います。是非、貴方の仲間会に顔を見せていない人を誘って下さい。

◆定例四木会・毎月第四木曜日・六本木 貴奈◆

千葉宗雄 記



15期

亦楽会

平成19年10月15日（土曜）品川駅前のつばめグリルにて第29回亦楽会（志木会15期）が開催されました。ゲストには初参加で昭和40年3月卒業当時の白石校長、大館元教諭、三田元教諭、後藤元教諭をお招きし総勢45名近い還暦を越す連中の年一度のにぎやかな集いでした。今回の特別スピーカーは、10年ほど前にホテルマンから転進し旅行会社を営んでいる阿波靖治君。「これから楽しいシニア向け旅行術指南」と題し

た講演をお願いしました。お土産をいっぱい買って帰った時の税関のスムーズな通り方、東南アジアでのお土産値引き交渉術などから始まり、最後は老後の日本人向け長期滞在お勧めの穴場としてパラオの紹介がありました。圧巻は911テロ当日に、唯一ハワイに到着することが出来たANA便でツアーを引率した時の緊迫感あるお話でした。

会場には今年度幹事の発案で作成されました「15期 亦楽会三色旗」が飾られ、最後は大館元教諭のリードで「若き血」を歌いお開きとなりました。尚、志木会20周年を機として設立された「慶應志木会奨学基金」へ当日出席者全員から一人2千円を集め“亦楽会”名義にて協力させていただきました。1月25日には、我々と大学同期の安西塾長より亦楽会有志宛てに丁寧なお礼状をいただきましたことも報告させていただきます。

亦楽会は今年で30周年を迎えます。記念大会を企画する平成20年度幹事は亦楽会発足に幹事として骨を折っていただいたA組平野井君、B組小野君、C組龍田君、D組大関君、E組松本君にお願いしました。素晴らしい記念大会をご期待下さい。

平成19年度幹事A組小林壮一、B組中村健一郎(代表)、C組武井喬、D組岩倉具伸、E組羽鳥正稔
倉田伸二 記



16期

志世会

「9月第2土曜日・万世本店8階」というのが、私共16期の定例同期会開催の決め事です。過去20年近く毎年4～50人の同期と交歓できるの

は、この定期定置性が大きいと感じます。志木会大会を2ヶ月後に控えた昨年も、大会の出席率への配慮から中止との声もありましたが、大会参加への督励の場とするという趣旨で開催し、30数名の出席を得ることができ、大いに盛上りました。(勿論、当日出席の殆どの方が大会にも出席してくれました。)

日時場所が毎年決まっているのは実は私達幹事の精神的負担も軽く、同期会草創期の細谷君(昨夏逝去)から今日に至る迄、20人近くの幹事が極自然に誕生し、交代しております。「幹事会は毎日が同期会」というのが幹事達の本音で、年何回かの会合でも議事後は、酒を酌み交し楽しむ事に徹しております。会の名称「志世会」についても改めて決めた経緯はなく、万世で行う志木高の同期会という程度の皆の認識から、いつの頃からか定着し追認したのが事実の様です。すべてが自然体というのが如何にも16期生らしいと思っています。

薫風や友の命日ちかづきぬ

近藤隆夫 記

20期

恒例になりました同期会が3月18日に有楽町の「日本外国特派員協会」で開催されました。30名以上の参加があり、スクリーンに映し出された昔懐かしい写真を見ながら、すっかり当時にもどりがはずんでいました。

本年9月27日(土)～28日(日)に静岡方面で宿泊による同期会を予定しております。

同期の皆様の参加をお待ちしております。

金子博志 記



ごっち大賞に輝く

元体育科教諭「ごっち」こと後藤さんは、昨年（平成19年）9月29日、第62回秋田国体開会式終了後、秋田市内のキャッスルホテル特設会場で、「国民体育大会功労者表彰」を受賞されました。後藤さんは、昭和34年第14回国民体育大会（東京会場）が初参加で、この年の新任採用ながら埼玉県選手団の旗手を勤められ、埼玉県旗を翻しながら、国立競技場を行進されたとのこと。その後陸上競技やスキー競技の選手、そして競技役員・本部役員・監督・総監督を歴任、昨年は埼玉県選手団副団長としての重責を担っての受賞になりました。

表彰は、日本体育協会会長（森元首相）から直接手渡されました。受賞後の両陛下ご臨席の懇談会では、受賞者一人一人に陛下から、直接お言葉を戴いたとのこと。後藤さんはその時の事を「戦中派の私としては、間近に陛下からの労いと励ましの言葉を戴ける事など夢にすら思っていて居らず、ただ感激の一語に尽きます」と話しておられました。

更に、11月8日埼玉県教育委員会からは「社会体育教育功労者表彰」を受賞されました。この賞は、埼玉県体育協会の競技団体（スキー競技・陸上競技・高体連）、地域社会（スポーツ審議委員会委員）などで長年活躍されたこと、そして定年後小学校教育（学校評議員・学校アドバイザー）へのボランティア活動が評価されたものでした。

後藤さんはこれらの栄誉について次の様に言葉を添えて居られました。

「慶應義塾志木高等学校に奉職出来たことが今回の受賞の大きな要因なのです。第1が優秀な生徒でエネルギーが分散せず集中出来たこと、第2が温かい塾の応援体制、体育課教員としての資格の取得、短期ながら留学（オーストリー国立スキー学校・フランス国立登山スキー学校）、海外出張（モスクワでの革命50周年スポーツ祭典・リガでの平和青年友好祭の団長）、国内出張（札幌冬季オリンピック・各種の指導者養成大学）など、教員或いは教育者として研鑽する機会を多々与えられたこと、そして第3に挙げたいのが、卒業生が其の時々気配りをしながら応援してくれていることです。本当に有難く、大きな幸せを感じております。この場を借りて関係各位に厚く御礼を申し上げさせて戴きます」

この度の受賞を志木会の皆さんで祝福しましょう。後藤さんのご活躍に敬意を表しますと共に、心からお祝いを申し上げます。



志木高18期生 第58回卒業式参列と同期会 報告

1968年卒業の18期生は卒業後40周年を記念して58期生の卒業式に学校から招待戴き、久方振りに母校へ参集する事ができました。昨年の11月24日にホテルオークラにて志木会大会が開催されましたが、残念ながら我が18期生の参加者は低水準に留まっていました。

3月22日の卒業式当日は、概ね50名の同期参加者を得て、58期の卒業式に参列する事ができました。思い返せば、この講堂で初めての卒業式を我等18期生が迎え、その40年後に同じこの講堂から巣立つ卒業生達を見送れる事は、何かが一廻りした様な感慨を受けました。我々の期が来年から再来年の3月末までに「還暦」を迎える事も、この様な感慨をもたらしたのかも知れません。

しかし、40年前の自分達の卒業式は、この日集まった同期生達は私自身も含め殆ど記憶している人はいませんでした。40年前、完成したばかりの体育館兼講堂で私達18期生は卒業式を挙行了した筈なのですが、この日の第58期卒業式とは随分違うように感じました。そもそも、息子の卒業を祝う為か来ている父兄の数が物凄く多かったのです。

自分がOBである蹴球部（一般的な名称で言えば、ラグビー部）は例会をラグビー祭と称して、9月第1週頃の土曜日に実施するのですが、10年ほど前から部員の父兄の参加がとても多いのです。部員全員のとは申しませんが、20～30人の父兄が、また殆どが夫婦連れでお見えになります。私が現役だった頃は、ラグビー祭という行事もありませんでした。卒業式にも私の父兄は来ませんでしたし、ただの一度も試合の観戦にも来ませんでした。あの頃の志木は所番地からして……大字志木でしたし、感覚的に遠かったと言う事なのだろうと思われます。

今年の卒業生名簿を見て吃驚した事があります。私達が志木高を卒業した頃は、そう言う制度自体がなかったのだと思いますが、皆勤賞、精勤賞の表彰が行われており、またその対象人数の多さでした。なんと、皆勤賞は30人、精勤賞は61人もいたのでした。皆勤賞、精勤賞で合計91人と言う事は、卒業生の1/3以上が3年間で1日も休まないか或いは1日か2日程度しか休まない事を意味します。それとは別に優等賞が6人おり、皆勤賞や精勤賞と重なっている卒業生もいたのです。

卒業式の式次第の最後の方で、我々慶應志木会からの卒業生のみならず在校生を含めて、特に功績のあった団体または個人に昨年から贈呈するようになった慶應志木会賞を、本年度は史上最高の戦績を収めた軟式野球部の卒業生10名と1年生ながら全日本カート選手権で全国チャンピオンとなった佐々木大樹君を表彰、記念証が授与されました。また、金額は不詳ながら学校へ慶應志木会からの寄付も昨年同様実施されました。

卒業式の後、我々18期生は別室に用意された懇親会場で、同じく招待されていた、我々の卒業時に担任でいらした3方——高山元教諭、宮下元教諭それと渡部元教諭を交えて、1時間ほど歓談する時間を持つてました。

更にこの懇親会の後、志木駅南側の“ベルセゾン”に場所を移し、久しぶりの18期同期会開を催致しました。事前に18期の同期生達に同期会開催の案内を告知する時間が無く、急遽当日になって卒業式に参列した同期生全員の参加を呼びかけましたが、既に次の予定が組まれていたり、体調を理由に参加できなかった諸君がいた事は残念でした。それでも、40人近い同期生が参加し、卒業時担任であった高山・渡部元教諭にも御参加戴き、17:30頃から2時間ほど昔話に花を咲かせ、19:30頃散会致しました。この当日、18期初めての同期会であるかの如く、出席者には案内してしまいましたが、よくよく思い返してみれば、1980年頃に青山学院記念館で挙行了した事があり、ほぼ30年振りの同期会開催となりました。今後はせめて、隔年程度には開催して行きたいものだと18期幹事を引継いだ者として、決意を新たにしました。

また、来年度に卒業式に招待される予定の19期生の方々、特に19期幹事の方への御参考に供したく、同期会を開催した会場の事を下記致します。

「ベルセゾン」 埼玉県新座市東北2-27-14 TEL: 048-475-1122
<http://www.bellesaison.co.jp/>

尚、ベルセゾンを運営する「東上セレモサービス」の社長は15期卒業の吉原良一君です。



会費納入のお願い

慶應志木会
会長 鹿野 元章

皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会の発足以来、種々の活動を通じ会の基盤作りに邁進して参りましたが、お陰さまで会の運営も順調に推移いたしております。これも偏に会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝いたしております。

昨年11月には第5回大会をホテルオークラにて、安西塾長、服部連合三田会会長、下村校長ほか諸先生をお招きして盛大に開催されました。

その後、新体制のもと第5期がスタートしておりますが、今後の活動と次期総会に向けて「慶應志木会」の一段の充実と発展のために会費納入のご協力をお願い申し上げます。

会費につきましては発足時より5年を一区切りとして大学を卒業された会員諸兄から年会費二千元を一括して「5年分一万円」のご協力をお願いいたしております。

会費の値上げも検討いたしました、第5期分につきましても厳しい経済情勢下ではありますが従来同様一万円にてお願いさせていただくことになりました。

納入方法につきましてはお手数ですが同封の振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局よりご送金下さいますようお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては引き続きご理解の上、ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

記

振込金額 10,000円（5年分）
取扱金融機関 全国郵便局
払込期日 早期振込にご協力下さい

〈問合せ先〉

* 各期学年幹事

* 財務担当 増山治一郎 17期 TEL 045-450-7250（共栄企業） FAX 045-450-7256

* 志木会事務局 竹内 TEL 048-471-1959（志木高内） FAX 048-471-1974



平成19年度慶應志木会 収支報告書（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

単位：円

収 入		支 出	
適 要	金 額	適 要	金 額
前期繰越金	13,641,340	会 報 費	2,303,962
維持会費	512,000	会 議 費	519,422
新入会費	1,640,000	式 典 費	115,000
名簿収入	2,100	交 際 費	217,580
物販収入	977,580	通 信 費	122,360
幹事会会費	123,000	振 込 費 用	25,775
大会会費	7,803,000	残高証明書発行手数料	2,400
大会祝儀	350,000	事 務 費	854,718
大会協賛金	1,300,000	パ ソ コ ン 関 連 費	867,969
福引券販売	1,849,000	収 穫 祭 寄 付	300,000
広告費収入	130,000	ホ ー ム カ ミ ン グ デ ー 費 用	78,033
J K カ ッ プ	408,000	志 木 会 賞 費 用	26,775
参加費用		卒 業 式 寄 付	300,000
預金利息	13,536	卒 業 生 ・ 新 入 生 記 念 品	74,970
		大 会 費 用	13,975,425
		J K カ ッ プ 参 加 費 用	408,000
		大 会 費 返 金	20,000
収入小計	15,108,216	支 出 小 計	20,212,389
		次 期 繰 越 金	8,537,167
合 計	28,749,556	合 計	28,749,556

預金残高明細（3月末現在）

（銀行）	（種別）	（適用）	（管理）	（残高金額）
りそな	普 通	一 般	増 山	3,011,738
埼玉りそな	普 通	入会金	増 山	1,641,493
郵便局	振 替	会費口	増 山	842,400
郵便局	振 替	名簿代	増 山	53,300
三井住友	普 通	小 口	金 森	1,970,056
埼玉りそな	普 通	小 口	竹 内	166,460
りそな	普 通	寄 付	増 山	851,720
合 計				8,537,167

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成19年度（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成20年5月8日

監事 大道 賢二
監事 千葉 宗雄
監事 原田 薫

近況のご報告

松崎 欣一

本塾志木高等学校元教諭(社会科)

早いもので志木高を「卒業」して、すでに3年という時間が過ぎています。当初は、毎日定時に家を出る必要のなくなったことの、解放感の大きさに浸っていましたが、生来のものぐさと不器用なたちで、新しいことを始める才覚もなく、日々の生活パターンは実はあまり変わらずといったところです。たまたま、福澤研究センターの設置講座があたりしく始まりそれを少しお手伝いするといったことで、調べものをしたり、原稿を書いたりということに時間を取られていました。それとやはり福澤センターの出版プロジェクトのひとつとして、数年前から始まっている『福澤論吉事典』編纂に関わる準備も本格化してきていて、こちらも、資料の整理やら原稿執筆やらかたづけなければならないことが次々に出てきてかなり大変なことになりつつあります。

といって、「高齢者」(まだ、「前期?」なのでしょうけれども)の特権でしょうか、時間調整のゆとりはかなりあるのも確かです。昨日も朝から東京国立博物館に出かけて「薬師寺展」を見て来ました。会場はかなり賑わっていて、それこそ前期も後期も高齢者でいっぱい、お昼頃に会場を出た時には入場制限をしていました。東院堂の聖観音像、金堂の日光、月光菩薩像の出開帳が人を呼んでいたのだろーうと思います。すでに現地でも何度も見ているものですが、完成された白鳳仏としての圧倒的な存在感をあらためて実感しました。とりわけ聖観音像は今回初めて厨子から出しての展示だそうです、これまでの正面から見たときの清冽で端正な仏像との印象に加えて、いっそう奥行きのある豊かな存在感を確認できたのは大きな収穫でした。去年は、琵琶湖の北から小浜にかけて十一面観音をたずね歩くツアーに参加しています。あらためて考えてみると、今日まで飽きることなく仏様めぐりが続いているのは、それが中学であったか高校であったか記憶が定かではないのですが、修学旅行の時に薬師寺で高田好胤さんの法話を聞いたあたりがひとつの原点であったようにも思います。具体的な内容は全く忘れていますが、たいへんに面白く聞いた印象がいまだに残っています。西塔再建前で、その芯礎の中央に雨水が溜まりそこに東塔の上部が映るさまを写真に撮って得意になっていたことなども思い出します。中学、高校時代に、それがすべてではないでしょうけれども、ひとつの何かが決まることは確かなようですね。展覧会を見終えて、現在博物館で仏教美術史の気鋭の研究者として活躍している志木高OBの浅見龍介君としばし雑談できるのも実は「高齢者」の特権のひとつかも知れません。

近況を報告せよとの会報編集子の求めにこたえて蕪辞をつらねました。お許し下さい。



芝三田山上、図書館旧館内、福澤研究センターにて研究を行う松崎さん。大久保佐太郎写す。

【編集部より】

現在志木会メールマガジンにて、「福沢書簡を読む」を好評連載中。

メールマガジン登録〈無料〉は info@keio-shikikai.jp まで。未登録の方は是非どうぞ。

■ 役 員 ■

名 譽 會 長	下村 裕(校長)
會 長	鹿野 元章(16期)
副 會 長	足立 文治(主事)
	増山治一郎(17期)(会長不在時代行)
	金子 博志(20期)
	中村 弘司(23期)
	山崎 嘉正(26期)
監 事	大道 賢二(12期)
	千葉 宗雄(13期)
	原田 薫(15期)
幹 事 長	阪東 宗文(16期)(会長不在時代行)

副 幹 事 長	野溝 孝信 (16期)	
	金子 康雄 (22期)	会報担当
事 務 局 長	小川 洋 (25期)	事業企画担当
	山崎 嘉正 (26期)	
事務局幹事	山田 純男 (26期)	総務担当
	金森 悟 (27期)	財務担当
	大澤 宏樹 (35期)	企画担当
	川崎 聡 (46期)	会報担当
	岩崎 弾 (48期)	企画担当
	大久保佐太郎 (55期)	総務・会報担当
	櫻井英太郎 (1期) 大谷熙 (1期) 龍野和久 (1期) 宮田勝 (5期) 多田毅 (7期) 五老輝彦 (9期) 荒木幸生 (10期) 品川雅貴 (12期) 本橋重夫 (15期) 西村孝一 (17期)	

幹 事

[illegible]

■クラブ幹事■

テニス部 田中 真介 (17期) バスケット部 南雲 保秀 (23期)
サッカー部 中村 直人 (38期) 卓球部 浅生 潤 (23期)

バレー部 進藤 英典 (23期) 野球部 小川 光二 (17期)
スキューバ部 渡辺 一仁 (51期)

編集後記

最後までお読みいただき有難う御座居ました。志木回大会が成功裏に終わりほっとしたのもつかの間——今年こそは予定通りに会報を発行せんと、編集部一同努力致しましたが、なんとか6月中の発行が出来そうです。これも執筆納期を守っていただいた会員の皆様、組版と校正に尽力いただいた精興社の方々のおかげで御座居ます。この場を借りて深く御礼申し上げます。 (きたらう)

慶應志木会会報 2008 ●Vol.28

平成20年 6 月20日発行
編集・発行 慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1
発行人 鹿野元章
印刷 (株)精興社
ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>
メール info@keio-shikikai.jp